

令和3年度第1回江別市地域公共交通活性化協議会（書面会議）説明書

委員各位 への お願い	事務局からの報告です。 当事項に関して、ご意見等がございましたら、別紙「回答書」へのご記入をお願いいたします。
-------------------	--

次第項目	1 報告事項 江北地区、豊幌地区におけるデマンド型交通について
参照資料	資料1-1、1-2、1-3、参考資料

説 明

(1)報告の主旨

前回協議会（令和2年度第3回協議会【1月開催】）において、江北地区については、事業期間のみを1年更新し現行制度のまま4月より実証運行を続ける旨、また豊幌地区においては6月より、江北地区をモデルケースとした新たな実証運行を開始する旨、協議が整いました。

本日は、前回協議会以降の両地区の運行実績や、実証運行開始までの経緯などをご報告いたします。

(2)江北地区

江北地区では、地元の市民活動団体（特定非営利活動法人えべつ江北まちづくり会）が事業主体となり、市内タクシー事業者（山崎自動車工業株式会社、通称「山崎ハイヤー」）が運行業務を受託して行う形態の「江北地区デマンド型交通」の実証運行が、平成30年12月から開始されています。

利用者アンケート等に基づき制度見直しを行い、令和2年4月からは新たな制度で1年間実証運行を継続しましたが、コロナ禍の影響もあり利用が伸びておらず、見直し後の制度検証が難しい為、期間のみを1年間更新し令和3年4月から、制度を変えることなく実証運行を継続しております。

令和3年4月以降の運行実績ですが、資料1-1のとおり前年度実績とほぼ同じであり、コロナウイルスの影響により利用を控えている方が多いと思われます。ただし、利用者のほとんどが65歳以上の高齢者の為、ワクチンの接種が早めに進み感染のリスクが下がれば、再び利用者が増える可能性はあります。

今後も、江北まちづくり会では月々の利用状況を確認しながら、利用者の意見なども参考にしつつ、平成4年度以降の制度設計を検討してゆく予定です。

(3)豊幌地区

一方の豊幌地区においても、地元の自治会である豊幌両自治会連絡協議会（豊幌町内自治会、豊幌自治会の2自治会で構成）の内部組織である豊幌デマンド交通運営協議会が事業主体となり、江北地区をモデルケースとした新たな実証運行が今月から開始され

ました。

資料１－２記載のとおり、前回協議会において実証運行開始の協議が整った以降は、会員制度を構築する為の広報活動や、住民向けの説明会及び会員登録会などを実施し、現在会員数は５８名です。

運行の概要は資料１－３に簡単にまとめておりますのでご確認下さい。更に詳しい概要につきましては、前回協議会にて承認された資料をご参照下さい。

また、コロナ禍の状況を鑑み当分は１台あたりの乗車定員を減らして運行を行っております。さらに、会員にコロナウイルスに関する注意喚起を行うために、特化したチラシを作成配布し、対策を強化しております。(参考資料参照)

運行実績については、今月１日開始の為、詳しいものはまだでておりませんが、初日は往復延べ７名の利用があったとの報告を受けており、順調な滑り出しであると考えております。

以上、江北地区、豊幌地区のデマンド型交通についての報告であります。事務局（江別市）といたしましては、引き続き、両地区と協議しながら、連携して制度をより良いものにブラッシュアップしてゆく予定ですので、委員各位におかれましても、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(以上)